



## わたしの防災手帳

新海 直美 (札幌支部)

このところ、〇〇年に1度と言われる災害が毎年のように起こっています。そのたびにたくさんの防災の情報を見聞きして、知識は増えているように思います。札幌支部の女性委員会でも勉強会などを行ってきました。

でも…災害で気が動転しているとき、いつも当たり前でできていたことができるだろうか…。知識をちゃんと人に伝えられるだろうか…。外出中でスマートフォンも使えない事態になったら家族や仕事関係の連絡先を思い出せるだろうか…。そんな不安がよぎります。更に悲しいかな、年々「思い出せない」「覚えられない」という事態が増えてきているという現実も！これは、かなり不安だぞと…そして、そんな心配を抱えている人は少なくないかも…？

そこで、札幌支部女性委員会ではいつでも身につけておける防災手帳をつくらうという話になりました。せっかく建築士会で作るのだから、「住まい」についての視点を盛り込んだものにしようということに。

サイズはお財布などにも忍ばせることができるA4八つ折。

内容は大きく分けて5項目。

- ① 災害用情報
  - ・災害用伝言ダイヤル
  - ・災害用伝言板
  - ・緊急通報先

- ・ラジオの周波数
- ② わたしの避難所
  - ・避難場所と居住地の情報
  - ・避難前のチェックポイント
- ③ 住まいに被害があったとき
  - ・写真を撮ること
  - ・片付け前の注意点
  - ・被災建物の判定について
- ④ わたしのこと
  - ・氏名や血液型、健康保険証番号など個人情報
- ⑤ メモ
  - ・大きくメモ欄を取って自由に書き込めるように

②と③は建築士がつくっているということでこだわったところ。

避難場所を調べる際に、自分が住んでいる地域をハザードマップなどで調べてもらうことで、どんな危険があるのかを知ってもらう仕掛けにしています。

また、すっかり忘れてしまいそうな、電気やガスなど住まいのことで気を付けた方がよいことなども記載しました。そして、被災建築物応急危険度判定のステッカーの存在や、罹災証明との違いなども知ってもらえるようにしました。

防災手帳の他に手引きとして資料編も作成しています。皆さんにもご活用頂けると嬉しいです！



資料編は札幌仕様になっていますので、他の市町村の方はアレンジしてみてください。

## 私の好きなこと…

藤井 洋子 (旭川支部)

私の好きなことは、建築とあまり関係のないことですが、パワースポットめぐりで、よく出かけています。今はコロナの渦中で、なかなか自由に行動できませんが、気分転換に効果的でおすすです。

なかでも私が一番好きな場所は、みなさんもご存じ【日光東照宮】。徳川家康を神として祀っている神社で、ここにはたくさんのパワースポットがあります。石の鳥居をくぐると、左手に五重の塔（今の五重塔は再建された塔で、耐震構造はスカイツリーの設計にも応用されたとか…）。五重塔を抜けると、表門左手にパワースポットの一つの新厩舎があり、ここにいるのが『三猿』です。人の一生を風刺した内容で、とても惹きつけられます。陽明門に行く前に御水舎に寄ります。この水は2キロ離れた滝尾神社付近からと言われており、水が途切れることなく出続ける仕組みになっているそうです。今は当たり前ですが、江戸時代の建築技術に圧巻ですよ。御水舎にもたくさん見どころがあります。そこを抜けて陽明門に入ります。中に入るとまだまだパワースポットがたくさんあります。

北海道にもたくさんのスポットがあります。そんな場所に出かけ、自然のパワーをいただいているのが私の好きなことです。みなさんもぜひ、訪れてみてはいかがでしょうか…元気がでますよ！



以前訪れた『神の子池』